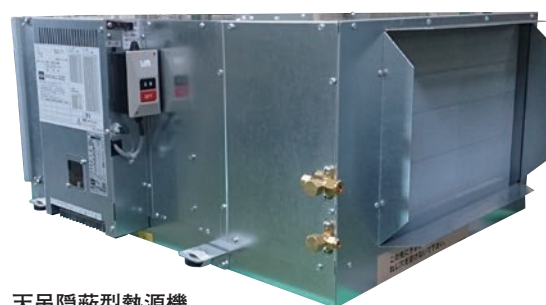




天吊隠蔽型熱源機
AUP24AAK

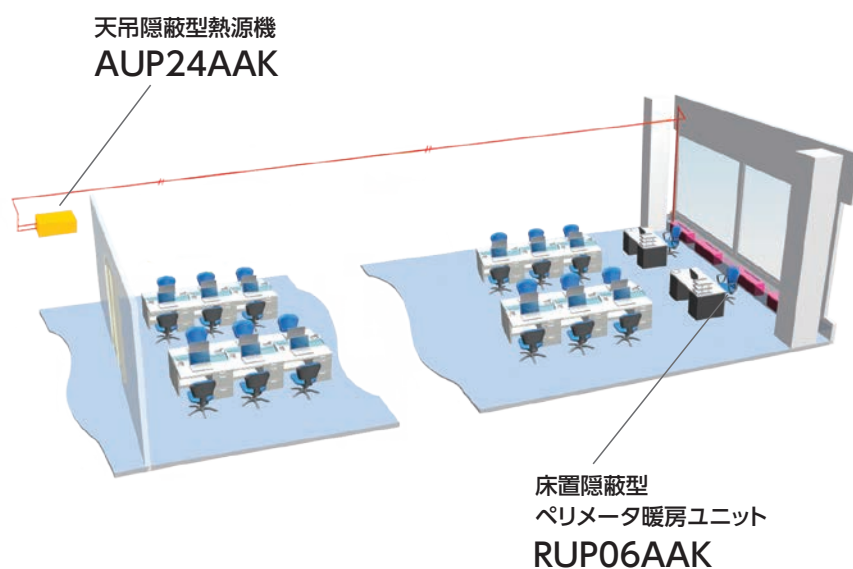


床置隠蔽型
ペリメータ暖房ユニット
RUP06AAK

セパレート型ペリメータ暖房ユニット

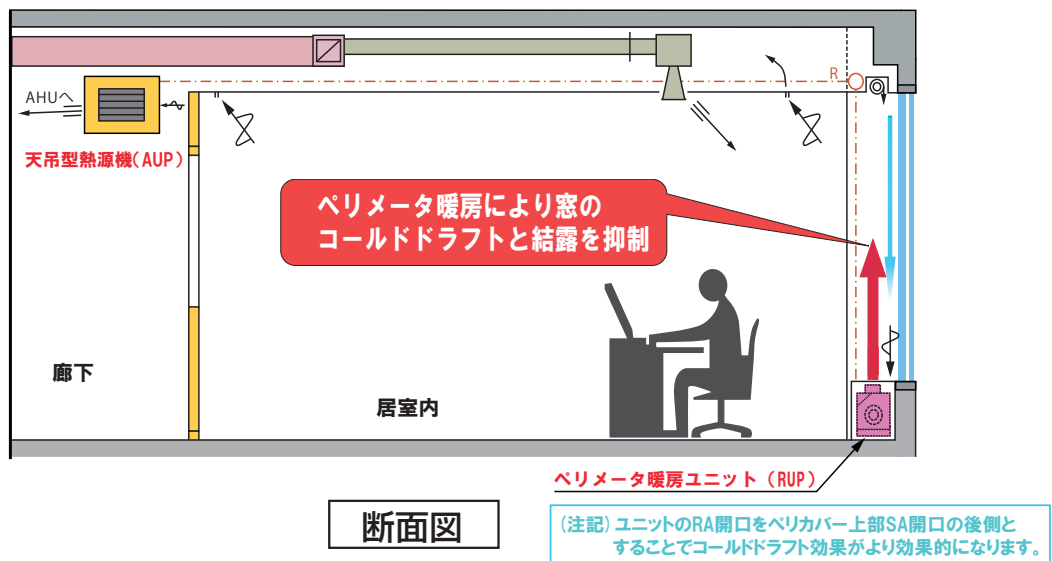
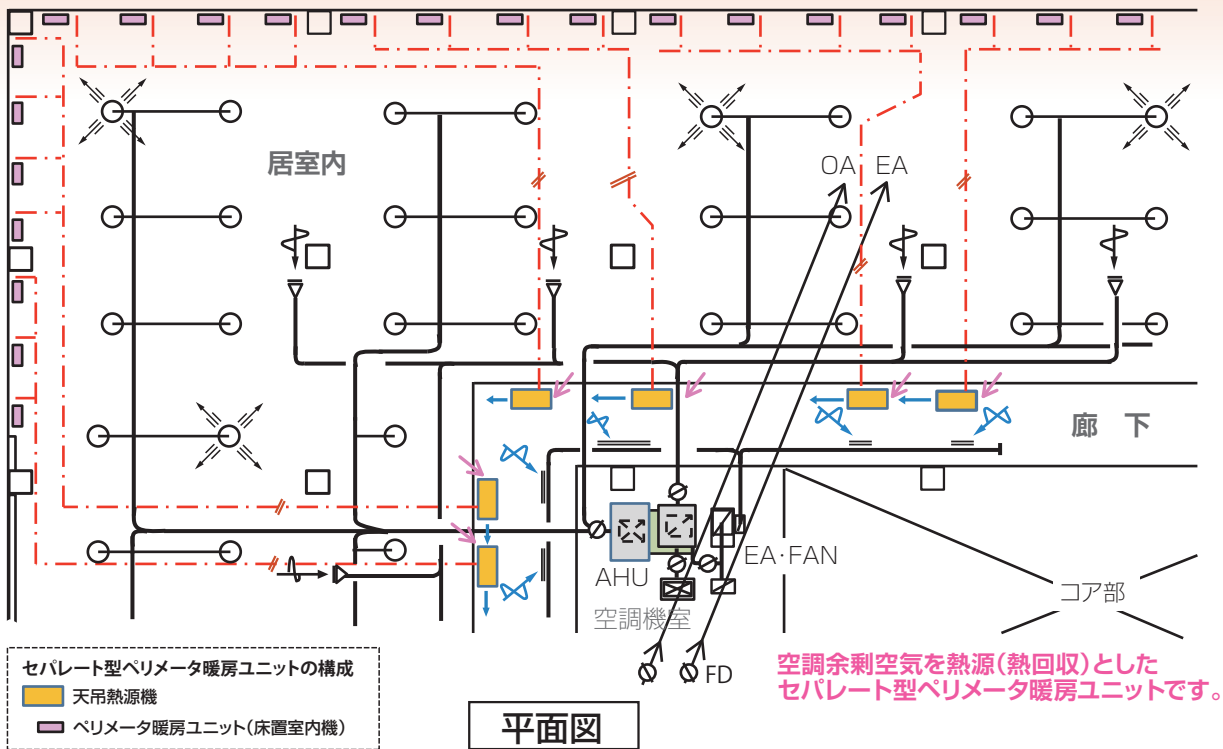
AUP24AAK, RUP06AAK

- 冬季のペリメータ部のコールドドラフト対応に
床置タイプの暖房ユニットです
- 空調余剰空気を熱源(熱回収)したセパレート型暖房ユニットです
- ドレン配管は不要

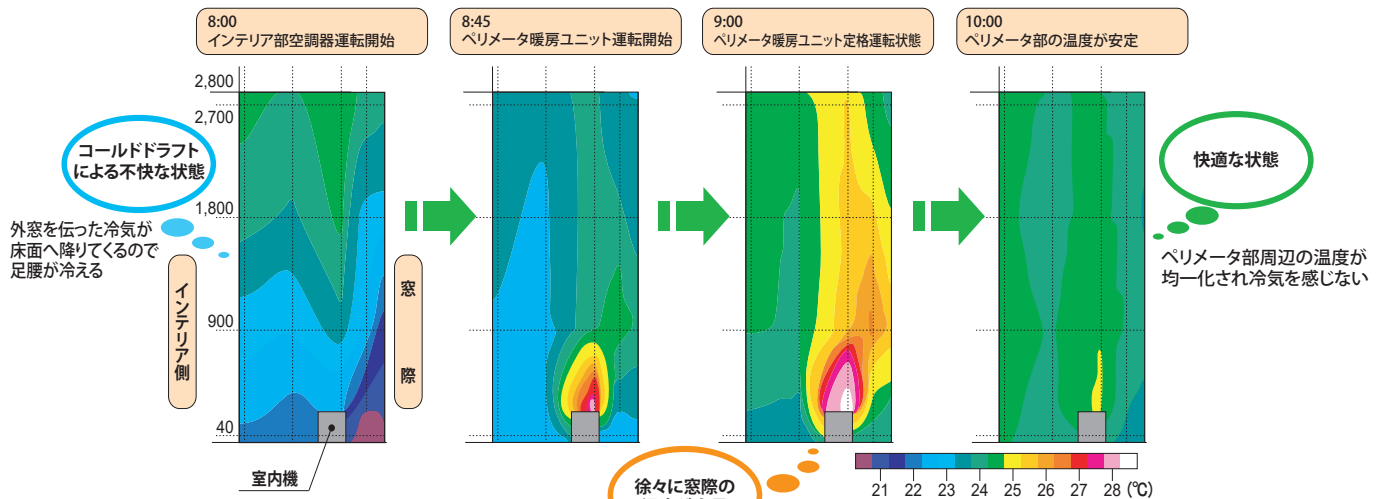


以下の資料は、《データ編》をご参照ください。

- 能力線図
- 運転音特性(周波数特性)
- 電気回路図

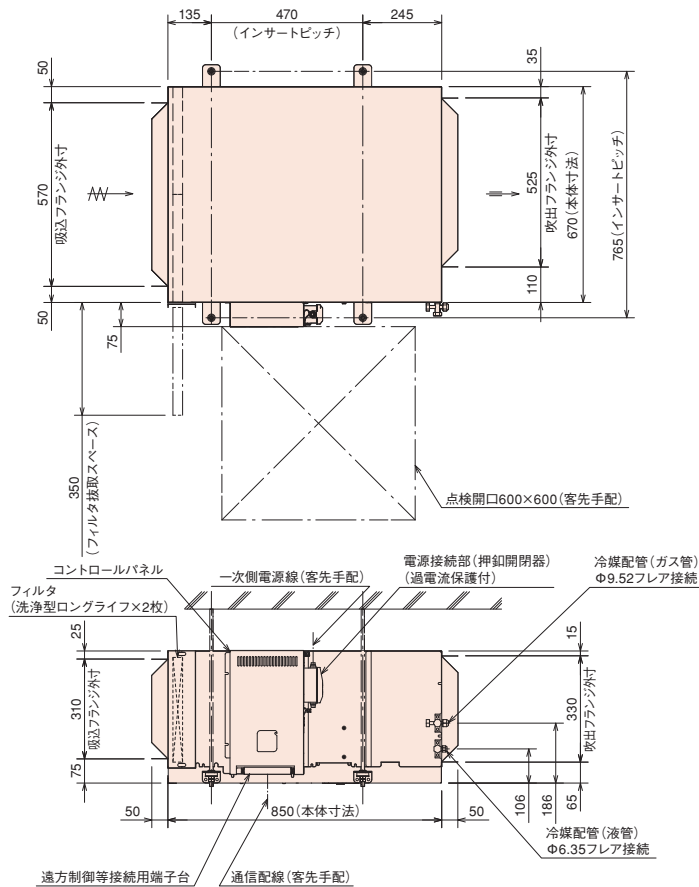


ペリメータの温度分布



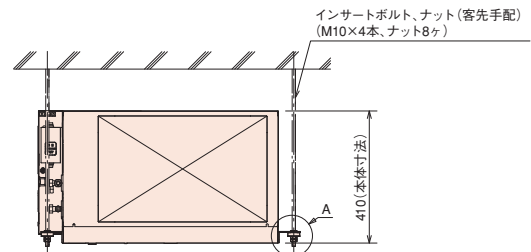
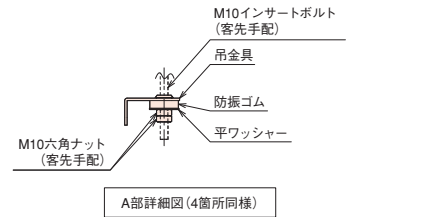
〈室内の温度分布〉 ペリメータ暖房ユニットを運転開始して70～80分経過後、ペリメータ部の温度が安定(周辺の温度差が2°C以内)することを確認しました。また、窓ガラスの結露も回避されました。

■熱源機 AUP24AAK



注 記

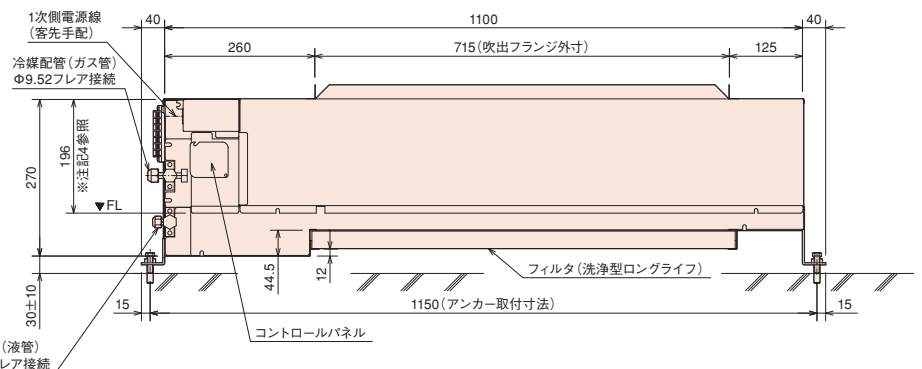
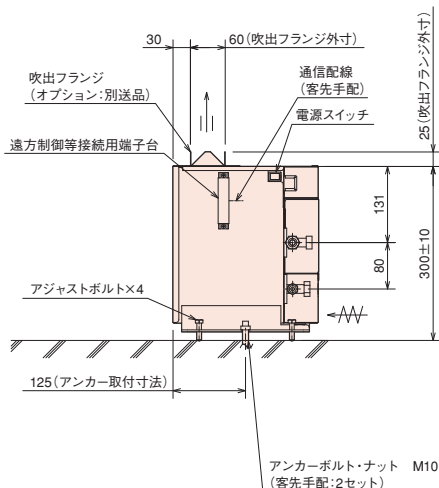
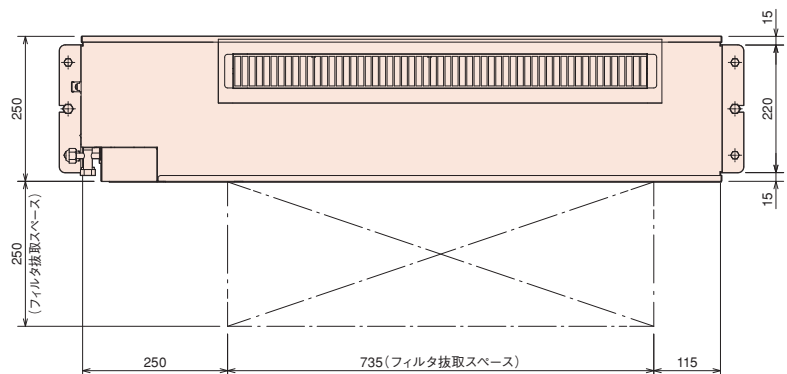
1. 本体直下の天井面に本体交換用点検口を用意してください。点検口が設けられない場合には、本体交換が可能な天井仕上げて施工してください。また、本体の通常メンテナンススペースとして図に示す寸法確保し、周囲及び下部とも障害物等のないように施工してください。
2. 冷媒配管、電源線、計装線の接続は客先にて施工してください。
3. 冷媒配管は断熱処理を施してください。
4. 1次側電源線は、押釦開閉器が上下左右に100mmくらい移動できる様に施工してください。



■室内機 RUP06AAK

注 記

1. 据付の際、本体脚部のアジャストボルト(4本)を調整し、アンカーボルト・ナットM10 (客先手配、2セット)にて床面に確実に固定してください。
2. 冷媒配管、電源線、計装線の接続は客先にて施工してください。
3. 冷媒配管は断熱処理を施してください。
4. メンテナンスのため、FL (床の仕上げ面・カーペット等)は、図示位置より高くならないようにしてください。



仕 様 AUP24AAK, RUP06AAK

項 目			単 位	AUP24AAK 熱源機	RUP06AAK 室内機(4台設置にて1台の値)
性 能 ※1	暖 房 能 力		kW	2.4〔 0.6 (室内機1台の能力値) ×4台(室内機標準台数) 〕	
	C O P		kW/kW	4.80	
電 源			V/Hz	単相200V 50/60Hz	
電 気 特 性 ※1	暖 房	消 費 電 力	kW	0.360	0.035
		運 転 電 流	A	2.5	0.19 / 0.18
		運 転 力 率 ※2	%	71	92 / 97
最 大 電 流			A	8.10	—
コンプレッサ	型 式			全密閉ロータリ型	—
	定 格 出 力 × 台 数		kW	0.75×1	—
送 風 装 置	フ ァ ン 型 式 × 台 数			シロッコファン×1	クロスフローファン×1
	風 量		m³/min	16 (最大19) ※3	5
	機 外 静 圧		Pa	50	0
	フ ァ ン モ ー タ 定 格 出 力		kW	0.06	0.005
熱 交 換 器				プレートフィン型	プレートフィン型
冷 媒 (G W P 値) ・ 封 入 量			kg	R410A (2090) ・ 封入量0.35 ※4	—
保 護 装 置	コ ン プ レ ッ サ			サーモスタット, カレントトランス	—
	フ ァ ン モ ー タ			DC過電流, オーバーヒート	サーモスタット
	冷 凍 サ イ ク ル			高圧スイッチ, ドレンレス ※5	—
	制 御 回 路			ヒューズ	ヒューズ
	そ の 他			ドレンセンサ	—
配管接続部	ガ ス 管	mm	φ9.52 (フレア)		
	液 管	mm	φ6.35 (フレア)		
電 源 接 続 部				過電流保護付押釦開閉器(定格電流9.5A)	端子台接続(M4ねじ)
室 内 ユ ニ ッ ト 接 続 台 数				2 ～ 5台	—
運 転 音 ※6	暖 房	dB (PWL)		62	53
外 形 寸 法	高 さ	mm		410	300
	幅	mm		670	1100
	奥 行	mm		850	250
製 品 質 量			kg	61	22
本 体 付 属 品				フィルタ (ロングライフ)	フィルタ (ロングライフ)
工 事 用 付 属 品 (別 送 品)				—	吹出フランジ

注 記

1. 暖房能力及び電気特性は、吸込空気乾球20℃、相対湿度40%、室内機 急運転時、室内機4台を接続運転した値です。(※1)
2. 力率の値は総合力率です。(※2)
3. 吸込空気の相対湿度によって、自動切替を行います。相対湿度50%で最大風量になります。(※3)
4. 冷媒封入量は、工場出荷時の値です。(※4)
5. ドレンレス運転可能な範囲は、運転範囲図にて確認してください。(※5)
6. 運転音(音響パワーレベル)は、JIS B 8616:2015及びJRA 4002:2013Rに規定した値です。(※6)
音圧レベル(SPL)は表1の値となります。表1に示す値は、室内機 ユニット前1.0m及び、熱源機 ユニット直下1.5mの無響室データです。運転条件は弊社標準条件、定格出力、風量急運転時です。
7. 本製品には漏電遮断器(高調波対応品)を必ず設置ください。
8. 本仕様書は、標準状態での内容を記載しています。
9. 仕様は改良により変更することがあります。

表 1. 音圧レベル (SPL)

	運転状態	dB (A)	NC
室内機	暖房 (定格)	39.5	34.0
熱源機	暖房 (定格)	35.0	28.0